

令和5年度 長野県図書館協会専門研修 ステップアップ研修 No.7

テーマ「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」

- 皆さんの図書館や学校では、地域資料や学校資料はどのように扱われていますか？
- 大切なものとして、きちんと管理され、活用できる形になっている場合もあるでしょうし、存在自体が知られていなかったり、あることは分かっているけれども管理されていない等、「このままでは失われてしまうかもしれない」という困った状況もあるかもしれません。
- 一方、デジタルアーカイブや電子書籍が話題になることも増えてきました。資料を保全し、活用可能な状況にするために、デジタル化は有効な手段です。「資料をアーカイブ化したいけれど、どうすればいいんだろう？」そんなモヤモヤを解決するために、地域資料や学校資料を参加者が持ち寄り、具体的に検討し、実践に繋げる場にしたいと思います。

令和5年度 長野県図書館協会専門研修 ステップアップ研修 No.7

研修プログラム：2024年1月25日（木）14:00～16:30

- 14:00～14:05 趣旨説明
- 14:05～14:30 レクチャー：デジタルアーカイブに関わる権利処理
- 14:30～15:20 持ち寄った資料によるグループワーク①
 - ✓ グループA：資料に関する説明・悩み・解決策の共有と検討
 - ✓ グループB：資料をスキャンして「信州デジタルコモンズ」に登録
- 15:20～16:10 持ち寄った資料によるグループワーク②
 - ✓ グループA：資料をスキャンして「信州デジタルコモンズ」に登録
 - ✓ グループB：資料に関する説明・悩み・解決策の共有と検討
- 16:10～14:30 振り返り・質疑応答・これからに向けて

「信州デジタルコモンズ」(いわゆるデジタルアーカイブ)

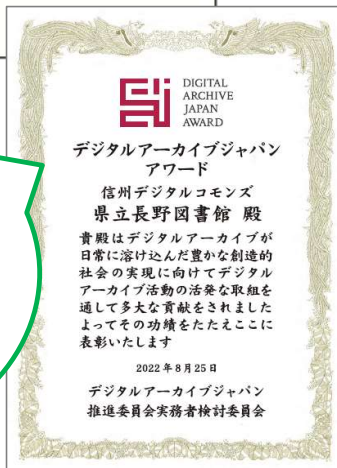


信州デジタルコモンズ

地域の記憶を記録する

信州の人々が営んできた身近な生活の記録を画像や映像で残し、「知の共有地」として活用するデジタルアーカイブです。

コンテンツの二次
利用がしやすい
公開法が評価され、
デジタルアーカイブ
ジャパン・アワード
を受賞



「情報公開」の仕組み

- 信州の人々が営んできた身近な生活の記録を画像や映像で残し、「知の共有地」として活用するデジタルアーカイブ
- 県立歴史館、県立美術館、県立図書館が所蔵するコンテンツ(文化財、史資料のデジタル版)のほか、信州各地の文化をテーマにした動画等が公開済み(「信州デジくら」の後継)
- 県内MLA (Museum, Library, Archives) 機関が所蔵するコンテンツに加え、公民館等の社会教育施設、学校、民間の持つ地域情報資源や活動の成果も対象としている。
- 登録できるコンテンツ:
 - 画像、音声、動画が対象となっていたが、新たにPDFが搭載できるように機能拡張を行った。
 - 従来は難しかった、各機関による行政資料や広報資料、成果発表資料なども公開が可能となった。

「信州ナレッジスクエア」の「信州サーチ」「信州デジタルcommons」を使ってみる ⁴

SHINSHU KNOWLEDGE SQUARE

生坂村

- 信州サーチ -
信州の文化資源を
まとめてさがす

12件見つかりました。

絞り込み

- すべて
- アーカイブ
- 収蔵情報
- 図書・論文
- その他

POWERED BY カーリル

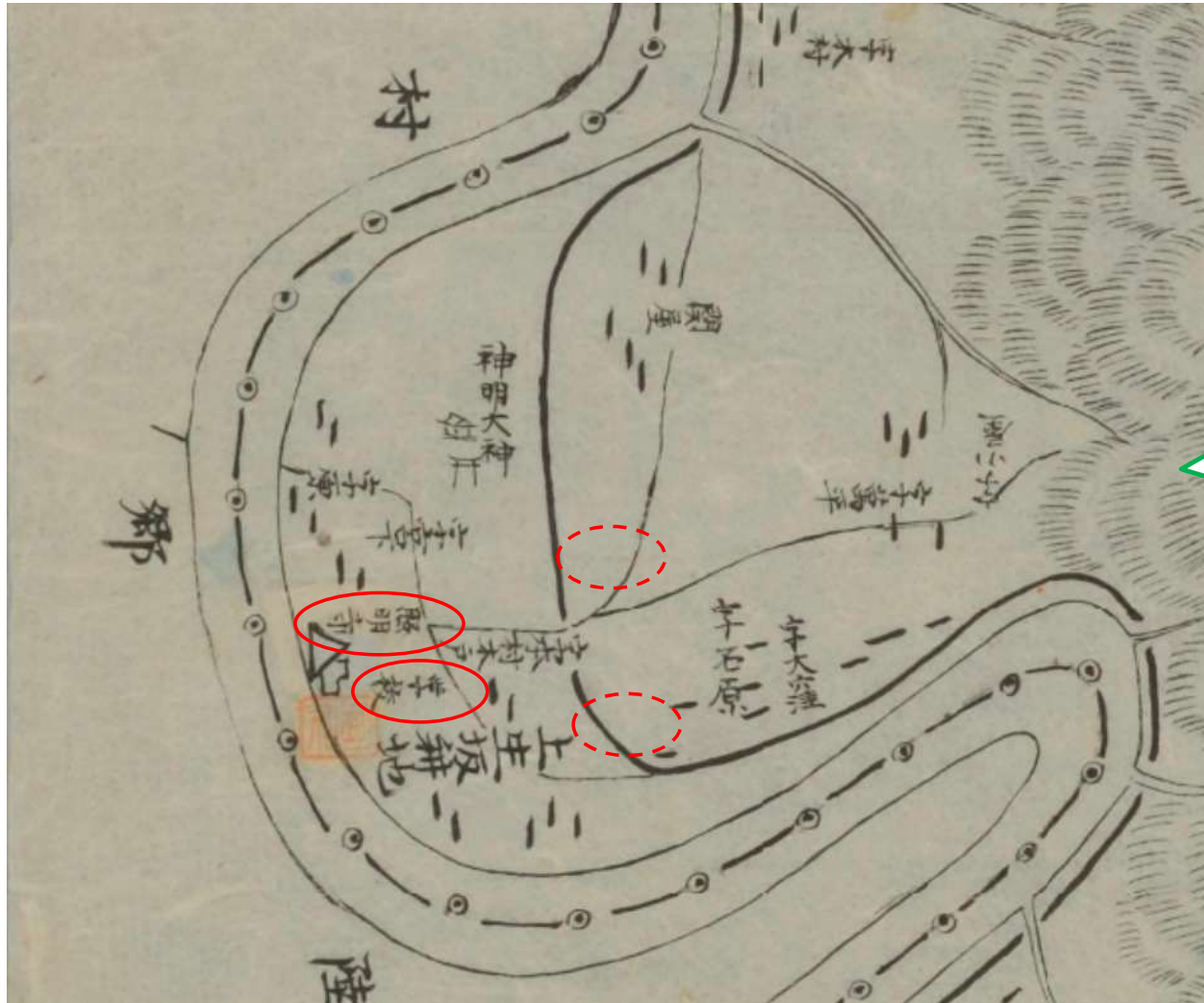
タイトル 生坂村絵図面

資料コード	03MP0801060150
タイトル	生坂村絵図面
分野	<input checked="" type="button" value="歴史"/> <input type="button" value="建造物"/>
場所(市町村名)	<input checked="" type="button" value="生坂村"/>
制作年(西暦)	1885
制作年(和暦)	明治18年
時代	<input checked="" type="button" value="明治"/>
制作者	長野県
制作者(ヨミ)	ナガノケン
大きさ	27×69
資料解説	
二次利用条件	PUBLIC DOMAIN
コピーライト	長野県立歴史館
施設名	長野県立歴史館

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

例:信州サーチで
「生坂村」を検索し、
「アーカイブ」で絞り込み
→信州デジタルcommons
「生坂村絵図面」

「信州ナレッジスクエア」の「信州サーチ」「信州デジタルコモンズ」を試してみる ⁵



画像は回転したり
拡大したりできる

明治期の絵地図では
「照明寺」の隣に学校があった
現在は、小学校・中学校が東側に
「いつ?」「なぜ?」
ふるさとを学ぶきっかけに

パブリックドメイン(公有物):
地域の歴史を学んだり、
二次利用して
新しいコンテンツを創る
材料として活用可能

二次利用条件 

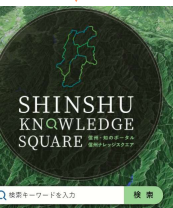
信州サーチによるカテゴリーを越えた検索・発見の仕組+コンテンツサプライの仕組

本を読みたい

ユーザーとしての住民

すべての住民が、いつでもどこからでも、さまざまなバリアを越えて、等しく情報を入手できる（リアルとバーチャルのベストミックス）
 →人々の学びを起点とする「読む」「知る」「学ぶ」ための情報基盤づくり
 →地域コミュニティの中に溶け込む図書館

知りたい・学びたい



ワンストップで探せる
・見つかる

信州ナレッジスクエア

信州ブックサーチ

県立長野図書館
電子書籍サービス

「デジとしよ信州」



信州デジタルcommons

eReading 地域資料

- ・ 協働図書館への参加（電子書籍の選書）
- ・ オリジナルコンテンツ搭載（EPUB形式）

- ・ オリジナルコンテンツ搭載（PDF,画像、動画、音声）

- ・ オリジナルコンテンツ搭載（PDF→eReading形式）

コンテンツサプライヤーとしての市町村図書館・室



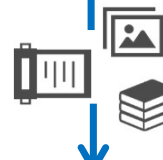
サービス窓口
レファレンス

- ・ 地域の情報拠点：人・地域・情報が直接つながりあう場



蔵書

- ・ 地域のニーズに沿った蔵書・サービス（貸出、レファレンス、地域課題解決支援、読書推進、児童サービス、高齢者支援、全域サービス網整備等）



独自デジタル
アーカイブ

- ・ 必要に応じて：個別の電子書籍サービスや独自のデジタルアーカイブを構築

- ・ 協働の枠組みで：書籍やオリジナル地域資料の電子的な提供力・発信力をさらに向上

プラットフォームとしての県立図書館

「ジャパンサーチ」や「NDLサーチ」等との連携



参考：「学校資料・地域資料」の公開・発信・活用の手法 目的に合わせた使い分け ⁷

	手段	メリット	留意事項
地域資料を「書籍」の形で発信・活用したい (PDF、EPUB)	<ul style="list-style-type: none"> EPUB3かPDFの電子ファイルを作成し、電子書籍サービス(「デジとしよ信州」のオリジナルコンテンツとして登録・公開する) 	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍の棚に市販の本と一緒に並べられる 目につきやすく、学校での読書活動にも紹介しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍サービスの利用登録をしている人しか見られない
	<ul style="list-style-type: none"> 「信州ナレッジスクエア」の中の”eReading Book”(付加価値付きの電子書籍)に登録・公開する 	<ul style="list-style-type: none"> テキスト情報付きのPDFと、目次データ(エクセルで作成)があれば無料で登録可能。Wikipedia等へのリンクなどの付加価値あり 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの知名度を上げていく工夫が必要
「書籍」を含むさまざまな地域資料(PDF、画像、動画、写真等)を発信・活用したい	<ul style="list-style-type: none"> 自前のデジタルアーカイブを立ち上げる 	<ul style="list-style-type: none"> デザインや見せ方などにオリジナリティが出せる 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用料を継続的に払う必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> 「信州ナレッジスクエア」の中の「信州デジタルcommons」(デジタルアーカイブ)に登録する 	<ul style="list-style-type: none"> 資料のデジタル化、権利処理ができれば、無料で登録可能。 	<ul style="list-style-type: none"> デザインや見せ方などにオリジナリティを出すために、工夫が必要